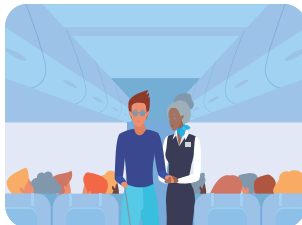
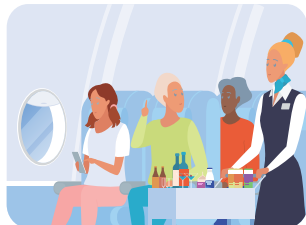
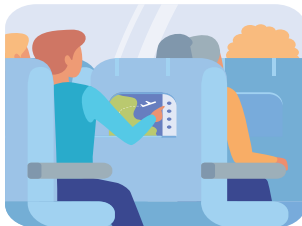
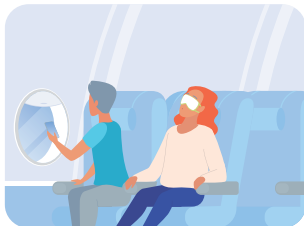
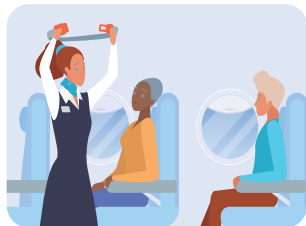
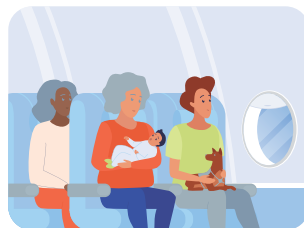




株主のみなさまへ



第 **84** 期

2023年4月1日 —→ 2024年3月31日

**決算報告書**

株式会社 **ジャムコ**

証券コード：7408



## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年度は航空業界全体で需要回復の動きが見られた一方で、人員不足が顕在化しました。当社も事業部の統合、国内子会社の統合を決定したほか、「選択と集中」により一部事業を集約することとしました。

2024年度においては、財務体質の改善などの課題への対応を進めるほか、効率的且つ筋肉質な企業構造への変革、収益力の改善を図り、先に公表した利益計画の達成と復配に向けて、グループ一丸となって邁進してまいります。

株主の皆さまには、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長CEO 恒松 孝一

士 魂 商 才

## 経営理念

## 技術のジャムコは、士魂の気概をもって

- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めています。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

## 2024年3月期の業績について

当連結会計年度の世界経済は、回復基調を維持していますが、中東における地政学上リスク、長期化するウクライナ情勢などによるエネルギー価格の変動や原材料価格の上昇、また、世界的な金融引締めや中国の景気減速による影響など、依然として不透明な状況が続きました。このようななかで、ドル円為替相場は対米ドル円レート131円台から151円台で推移しました。

航空輸送業界では、新型コロナウイルス感染症の沈静化により旅客需要が回復し、エアラインでは大口の機体発注などの動きが見られ、これを受けて航空機メーカーは機体の増産に取り組んでいます。一方で、機材の運航や空港施設、加えて機体製造に係わるサプライチェーン全体においては人員不足への対応が急務となっています。

このようななかで当社グループでは、2030年におけるジャムコグループのあるべき姿、進むべき方向性を明文化したJAMCO Vision 2030を実現するため

の三本柱として、JX：ジャムコ・トランスフォーメーション(業務改革)、SX：サステナビリティ・トランスフォーメーション、HRX：ヒューマンリソース・トランスフォーメーションのタスクチームを設置して、当社業務の基礎課題を解決すべく、推進体制の強化と共に取組みを推進しました。

航空機内装品等製造関連においては、航空旅客需要の回復に伴い、航空機メーカーの増産やエアラインのスペアパーツ需要の増加に対応すべく、増産体制強化に取り組みました。また、製造工程においては、グループ全体の経営資源の有効活用、効率化・合理化による経営基盤の強化を図るため、国内子会社の統合を決定すると共に、ジャムコフィリピンの生産能力・機能拡張計画や国内外のサプライチェーンの強靱化に取り組みました。

航空機シート等製造関連においては、航空機メーカーによる新造機の増産計画やエアラインが運航している既存機の機内改修需要が急拡大していることから、「選択と集中」により、航空機シート事業の開発を伴う受注を一時的に凍結し、開発人材と生産キャパ

### プロフィール

氏名(よみがな) 恒松 孝一(つねまつ こういち)  
生年月日 1962年4月29日生

略歴	1987年 4月 ソニー(株)(現・ソニーグループ(株))入社	2015年 3月 ホシザキ電機(株)(現・ホシザキ) 取締役 海外事業担当
	2001年 4月 Sony Hungaria Kft 現地法人社長	2018年 3月 ミスミグループ本社入社 副社長補佐 兼 常務執行役員
	2005年 4月 ソニー(株)(現・ソニーグループ(株))	2019年 4月 同社 常務執行役員 兼 欧州企業体現地法人社長
	オーディオ事業本部 マーケティング部統括部長	2023年 4月 伊藤忠商事(株) 入社
	2006年 9月 Sony HongKong Marketing Company 社長	2023年 4月 当社出向 副社長執行役員(社長補佐、業務改革推進担当、CSO)
	2009年11月 ソニー(株)(現・ソニーグループ(株))	2024年 3月 伊藤忠商事(株) 退職
	グローバルセールス&マーケティング本部統括部長	2024年 4月 当社社長執行役員、CEO
	2011年 4月 ホシザキ電機(株)(現・ホシザキ)入社(社長付) 海外戦略推進部長	2024年 6月 当社代表取締役社長、CEO
	2012年10月 Hoshizaki USA Holdings/Hoshizaki America, Inc.現地法人社長	現在に至る

シティを当社の主力である航空機内装品事業に集約することとしました。

航空機器等製造関連においては、生産性改善の取り組みを行うと共に、熱可塑性CFRPを活用した航空機用軽量機体部材の開発や熱硬化性CFRP部材の航空機分野以外への展開を進めました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取り組みを継続すると共に、エアライン、官公庁向け整備の受注に努め、安定した収益を上げるため事業基盤の強化に取り組みました。更に、無人航空機(ドローン)に対する運用サポートなどの新規事業分野への取り組みも開始しました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高63,999百万円(前期比16,773百万円増)、営業利益2,383百万円(前期比649百万円増)と増収増益でしたが、経常利益については、為替差益の減少や金利負担増加などにより999百万円(前期比127百万円減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,710百万円(前期比463百万円減)となりました。

なお、当連結会計年度末に次期以降の完成工事

に対する工事損失引当金を5,209百万円計上しております。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第4四半期連結会計期間において売上原価900百万円の増加(第3四半期連結会計期間末の工事損失引当金は4,308百万円)、また、当連結会計年度においては売上原価929百万円の増加(前連結会計年度末の工事損失引当金は4,280百万円)となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益、法人税等調整額の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、人件費、保証工事費及び販売手数料の増加などにより9,541百万円(前期比1,202百万円増)となりました。

営業外損益は、為替差益が減少したことや米国ドル金利の上昇により支払利息が増加したことなどから1,383百万円の損(前期は、606百万円の損)となりました。

特別損益は、連結子会社であるJAMCO SINGAPORE PTE LTD. の清算に伴い関係会社清算益として141百万円を特別利益として計上しましたが、

2023年度  
連結業績  
ハイライト

売上高  
**63,999**百万円  
前期比**35.5%**増

営業利益  
**2,383**百万円

経常利益  
**999**百万円

親会社株主に帰属する  
当期純利益  
**1,710**百万円

航空機シート事業の開発を伴う受注の一時凍結に伴い固定資産の減損損失として317百万円、航空機内装品セグメントにおいて、顧客との補償条項に基づく損害補償費として303百万円を特別損失として計上したことなどにより412百万円の損(前期は、467百万円の益)となりました。

法人税等調整額は、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の計上により△1,330百万円(前期は、△1,186百万円)となりました。

## 今後の見通し

当社グループが関連する航空輸送業界では、国内外を問わず航空旅客数の増加により航空機の需要が増加しています。これに伴い、当社が注力している中大型機の運航機数及び新造機生産についても増加が見込まれています。

このようななか当社グループでは、運航機数の増加によりエアライン向けスペアパーツ需要がコロナ禍前

の水準を超過するなかで、スペアパーツ供給体制を強化し、確実に収益確保を行います。また、新造機の増産計画による応需能力回復に対応するため、航空機シート事業のリソースを航空機内装品に集約し、全社的に業務プロセスの改革・生産体制の効率化を図り、品質と収益力の向上を目指していきます。

こうした状況を踏まえ、2025年3月期の連結業績見通しは、売上高86,900百万円、営業利益7,810百万円、経常利益5,280百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,490百万円を見込んでいます。

なお、前提となる為替レートは、1米ドル当り140円としています。

また、当社は株主配当に係る基本方針として、効率的経営に努め収益向上を図ることで、株主の皆さまには安定、且つ継続的に還元することを旨とし、連結配当性向20～30%を目安に配当額を決定するものとしております。2025年3月期の配当予想は、業績予想と財務状況等を総合的に勘案した結果、1株当たり25円(復配)としています。

2024年度  
連結業績  
予想

売上高

86,900百万円

営業利益

7,810百万円

経常利益

5,280百万円

親会社株主に帰属する  
当期純利益

3,490百万円

## 経営環境

- 航空旅客需要は回復基調にあり内装品市場全体で2031年までに約2.4倍の成長が見込まれる。
- 2023年度のスペアパーツ売上実績は153億円、引き続き受注残は増加傾向にあることから一層の応需能力強化が求められている。
- 航空機メーカーとMRO業者を中心とする航空産業は、グローバル・サプライチェーンがコロナで受けた影響から回復せず、資材や部品の供給と価格が不安定な状況が続いている。更に人財の確保が課題となっており、航空機メーカーでは機体製造においてエアラインの納期や品質を守ることに苦慮しており、機体生産計画の変更には注視が必要である。
- インフレによる人件費や部材費の高騰への対応策として、生産性の向上や原価管理の重要性がより一層高まっている。
- 為替レートについては2024年初頭の140円台から円安方向で推移するも、日銀による金利政策の見直し、米国の大統領選の行方等、世界経済は不透明継続の見通し。

## 2024年度経営計画方針

キーワードは“**選択と集中**”による**収益力向上と財務基盤強化**

- **内装品事業の“深化”**  
応需能力・サプライチェーンの強化、品質向上、製造拠点の最適化を推進
- **シート事業の抜本的な“見直し”**  
新規開発凍結による止血と既存契約の確実な履行を徹底
- **整備事業と機器製造事業における“融合と成長”**  
運航機体数増加への対応、ホイール整備における自動化、防衛案件をはじめとした受注拡大及び収益力強化

## 中期経営指標

収益性指標

連結経常利益率 **7%以上**

安全性指標

自己資本比率 **30%以上**

効率性指標

連結ROA **7%以上**

配当方針

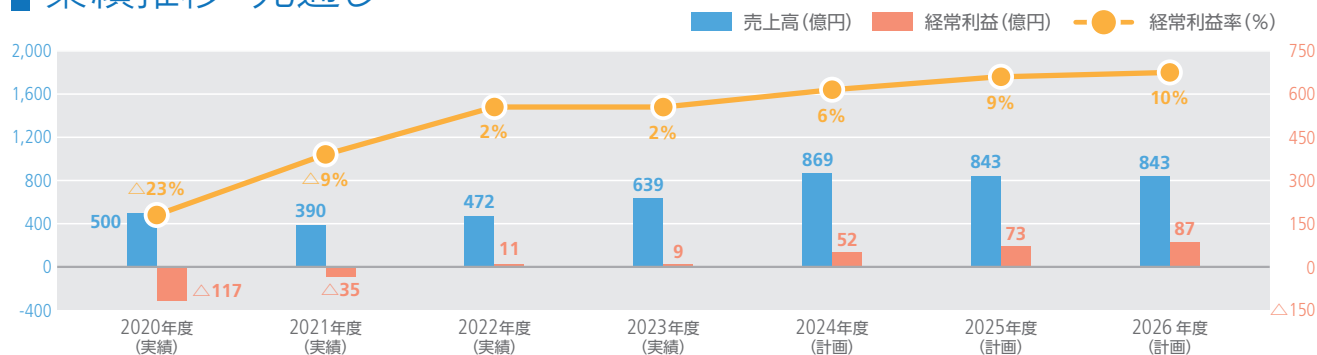
連結配当性向 **20~30%**

## 2024年度中期経営計画

(単位：百万円)

	2023年度(実績)	2024年度(計画)	2025年度(計画)	2026年度(計画)
売上高	63,999	86,900	84,300	84,300
売上総利益	11,924	20,370	21,550	23,190
販管費	9,541	12,560	12,370	12,630
営業利益	2,383	7,810	9,180	10,560
営業外損益	△ 1,383	△ 2,530	△ 1,830	△ 1,780
経常利益	999	5,280	7,350	8,780
特別損益	△ 412	△ 250	△ 10	△ 10
税金等調整前当期純利益	587	5,030	7,340	8,770
親会社株主に帰属する当期純利益	1,710	3,490	5,090	6,080
売上為替レート(円/USドル)	143.21	140.00	140.00	140.00
連結総資産	108,216	103,130	103,670	105,930
営業キャッシュ・フロー	1,403	8,120	11,440	9,590

## 業績推移・見通し



ジャムコグループは、サステナビリティ活動を経営理念の実現に向けた重要課題として捉え、次の基本方針を掲げて取り組んでまいります。

### サステナビリティについての基本方針

ジャムコグループは、自然との共生をはかり、企業活動を通じて人々の幸せと豊かな社会づくりを追求し、世界の持続的な発展に貢献していきます。

- グローバル社会が直面する地球環境問題をはじめとした様々な課題に挑戦します。
- 地球温暖化の問題を喫緊の課題と認識し、あらゆる環境負荷低減施策に取り組みます。
- 事業環境の変化を新たな成長の機会と捉え、より安全で安心な製品・サービスの提供を通じて持続可能な社会づくりと企業価値の向上を目指します。

ジャムコグループでは、中長期計画「JAMCO Vision 2030」の戦略の柱の一つに、サステナビリティ・トランスフォーメーション推進プログラムを据えています。経営理念や各種方針及び「JAMCO Vision 2030」を踏まえ、ステークホルダーにとっての重要度と当社グループの経営インパクトの大きさを判断基準に我々が優先的に取り組むべきサステナビリティにおける重要課題（マテリアリティ）を特定しています。

ステークホルダーの皆さまとの信頼関係を大切に、豊かで持続可能な社会づくりに貢献するべく、当該マテリアリティへの対応を進めてまいります。

サステナビリティレポートは、右記のQRコードから当社のホームページにアクセスいただくとご覧いただけます。



[https://www.jamco.co.jp/ja/news/csr\\_news/csr\\_news-2479235679971323449/main/0/link/jamco-SU2023allR1.pdf](https://www.jamco.co.jp/ja/news/csr_news/csr_news-2479235679971323449/main/0/link/jamco-SU2023allR1.pdf)



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



## マルチステークホルダーエンゲージメント

当社は事業活動を行ううえで、お客様・取引先・株主・地域社会・従業員を含むすべてのステークホルダーの皆さまから信頼される誠実な企業を目指し、ステークホルダーの皆さまとの対話を継続的に進めています。当社グループに対するご意見やご期待を的確に把握し、事業活動に反映させることでステークホルダーとの良好なエンゲージメントに努めています。

	ステークホルダーの関心領域	主なコミュニケーション手段
お客様	高品質な製品、問い合わせへの迅速な対応、付加価値の高い製品、サポートの充実	カスタマーサポート、定期的な打ち合わせ、顧客満足度調査、工場見学、展示会
取引先	調達方針、社会的課題解決に向けた要求、事業動向及び取引実績分析内容、製品・技術の動向、化学物質情報伝達スキームの効率化、GHG排出量算定の要求	CSRアンケート、訪問説明、調達方針説明会
株主・投資家	持続的成長に向けた中長期的な経営戦略、事業部ポートフォリオの転換の進捗状況、財務状況、事業活動の動向と成果、ESGへの取組み	株主総会、決算説明会、工場見学会、One on One Meeting、Small Meeting、個人投資家向け説明会、個人株主向け工場見学会、株主・投資家向け冊子、IRコンテンツ(公式ウェブサイト)
地域社会	地域コミュニティへの参画、企業市民としての責任の遂行、事業を通じた地域社会への貢献、寄付	企業版ふるさと納税、拠点周辺地域の環境保全活動
従業員	労働環境の向上、福利厚生制度の充実、評価・人事制度の充実、社内風土の向上、経営方針、人材育成制度の充実、労働安全制度の整備、社内報	労使協議会、経営層からの情報発信(Viva Engage)、人材育成プログラム、コンプライアンスホットライン、安全衛生委員会
NGO・NPO	地域環境保全・生態系保全・被災地支援・サプライチェーンリスク	環境保全活動、ボランティア活動
教育・研究機関	産学連携(共同研究等における企業側の知見の活用)	学生向け会社見学会、共同研究の打ち合わせ
官公庁・自治体	社会課題解決への積極的な支援	官公庁との意見交換、経済団体・業界団体を通じた対話

## 01

## JAXAとラブラトリーの共同研究

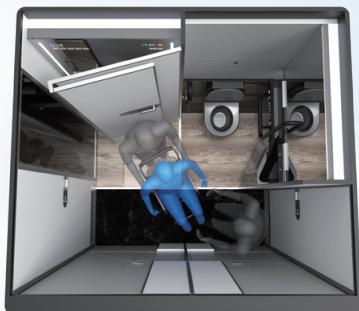
2024年1月、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下、JAXA)は、当社との共同研究テーマである「ユニバーサルデザインの空旅」を実現する革新的な機内バリアフリートイレの提案について、JAXAのホームページで公表しました。

この共同研究では、身体にハンディキャップがある方にとって課題となっていた、空の旅におけるラブラトリー(機内トイレ)の問題を解決するソーシャルイノベーションのコンセプトを提案しています。

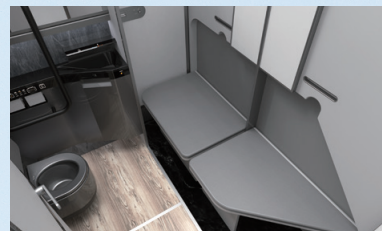
機内客室の通路が2つあるワイドボディ機のクロスアイルスペースに設置されるラブラトリーユニットにおいて、拡張可能な空間を作ることによって、介護や幼児のおむつ替えなどがしやすいスペースを創出することができます。



スタンダードモード



完全拡張モード



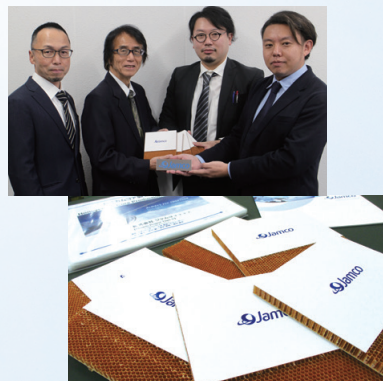
個別拡張モードによって、大人と子どもが入るのに十分な広さとなります。

## 02 専門学校に教育教材としてハニカムパネルを無償貸与

2023年12月、当社で製作しているハニカムパネルの端材を中日本航空専門学校に無償貸与しました。実際に航空内装品に使用されるハニカムパネルを教育教材として活用することで、実践的な知識を身に付けることができます。また、ハニカムパネルを再利用することにより、廃棄物削減や資源の有効活用にもつながり、持続可能な発展にも寄与することが期待されます。

写真引用元：中日本航空専門学校公式X ▶ <https://x.com/cnakouhou/status/1739079156288344190?s=46>

(2023年12月25日)



## 03 企業版ふるさと納税

2023年7月、宮城県へ企業版ふるさと納税を行い感謝状をいただきました。東日本大震災の教訓を踏まえ、広域防災体制の構築への寄付によるものです。

今後とも地域社会との連携を深めてまいります。



## 04 海外の子どもたちへ絵本を届ける活動

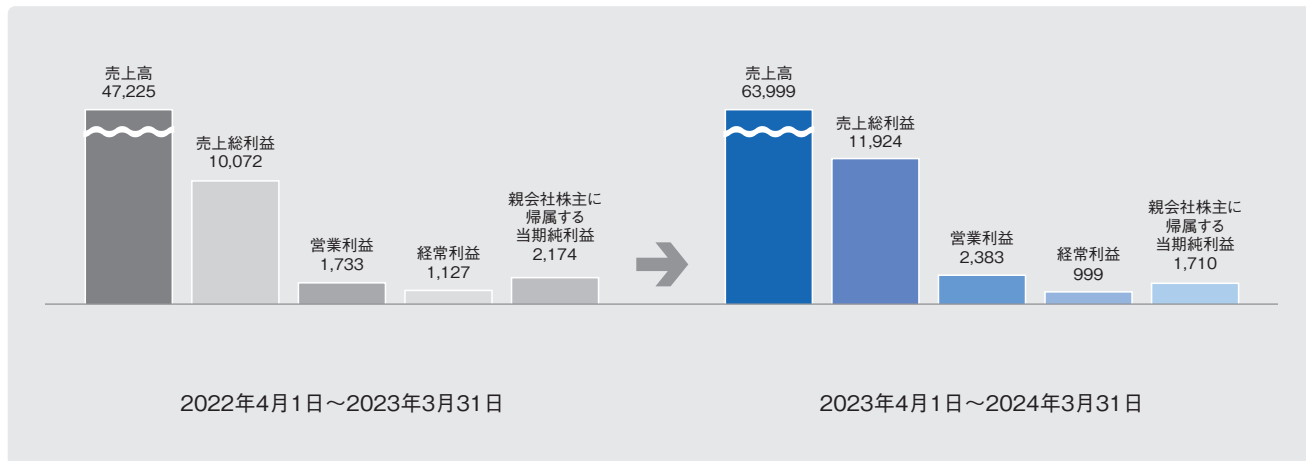
2023年10月、教育の機会に恵まれない海外の子どもたちに絵本を届けるボランティア活動を実施しました。現地語に翻訳されたシールを絵本に切り貼る作業だったため、自宅でお子さんと一緒に取り組んだ社員も多くいました。

当社では、今後もボランティア活動を通じて社会貢献への意識を醸成できるような活動を実施していきます。



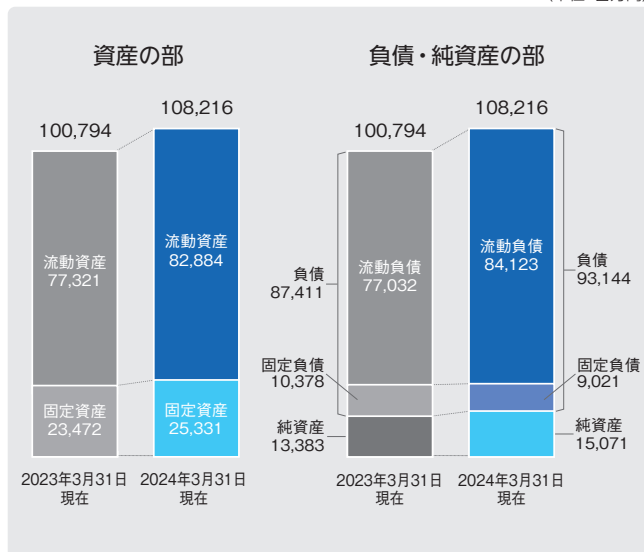
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



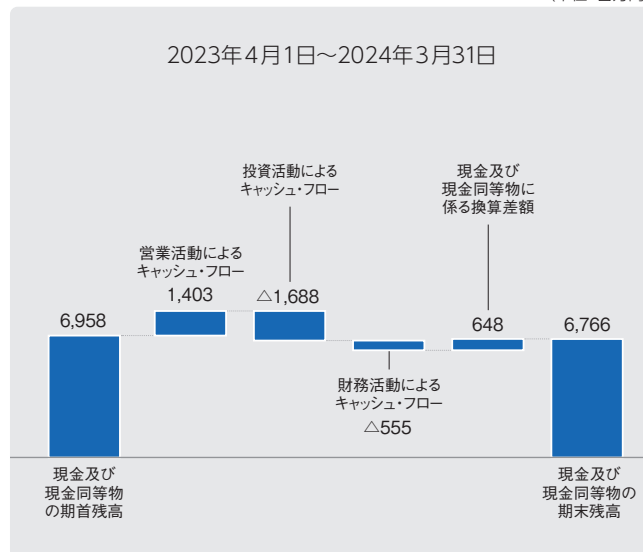
連結貸借対照表(要旨)

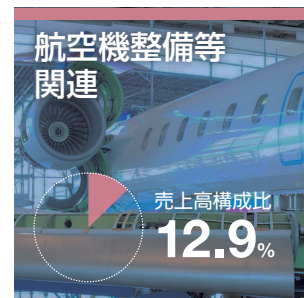
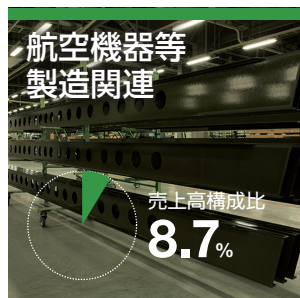
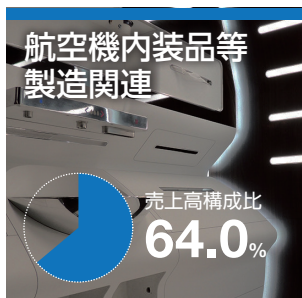
(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)





**製品・サービス**

ギャレ  
ラバトリー

**製品・サービス**

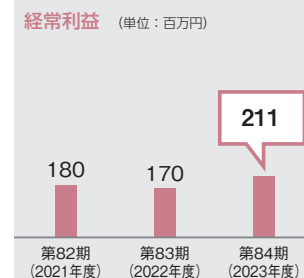
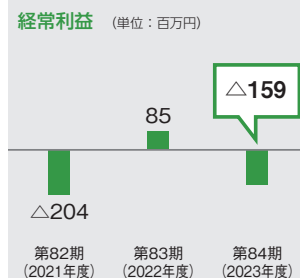
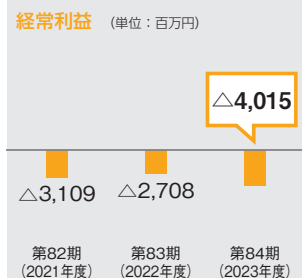
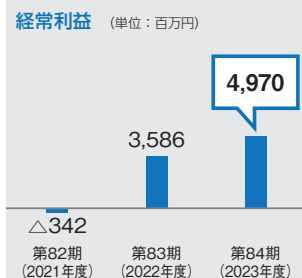
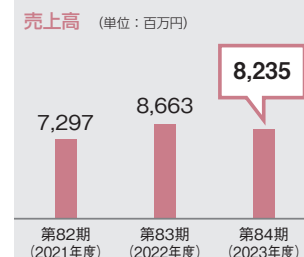
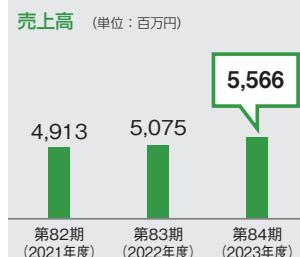
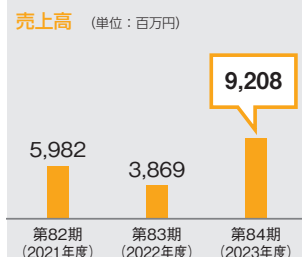
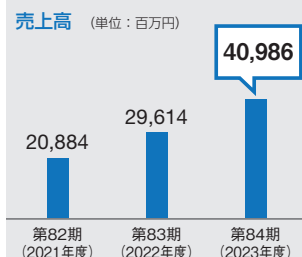
プレミアム・シート  
シートコンソール

**製品・サービス**

空調用機器等  
航空機用エンジン部品  
航空機用炭素繊維構造部材

**製品・サービス**

機体整備・改造  
装備品整備等



詳細な決算情報は、右記のQRコードから当社ウェブサイトへアクセスいただき、「IR資料」からご覧いただけます。

▶ <https://www.jamco.co.jp/ja/ir/materials.html>



## 会社概要

## 🚩 会社概要 (2024年3月末現在)

商号	株式会社ジャムコ
本店	東京都三鷹市大沢六丁目11番25号
本社	東京都立川市高松町一丁目100番地
設立年月日	1949年3月15日
創立年月日	1955年9月1日
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●航空機内装品等製造関連 ギャレー、ラバトリー、ギャレー搭載用各種装備品等の製造</li> <li>●航空機シート等製造関連 航空機シート及びシートコンソール等の製造</li> <li>●航空機器等製造関連 熱交換器、航空機用炭素繊維構造部材、民間航空機エンジン部品等の製造</li> <li>●航空機整備等関連 航空機の機体、装備品等の整備・改造</li> </ul>
資本金	5,359,893千円
従業員数	連結：2,692名 個別：1,059名

## 🚩 役員／執行役員 (2024年6月26日現在)

取締役会長	阿部 俊之	常務執行役員	田所 務
代表取締役社長	恒松 孝一	常務執行役員	内城 浩
代表取締役副社長執行役員	米倉 隆	常務執行役員	神山 行雄
取締役副社長執行役員	木村 敏和	常務執行役員	木本 幸浩
社外取締役	高端 優	執行役員	鎌田 文彦
社外取締役	原田 茂	執行役員	野々目慎一
社外取締役*	鈴木 伸一	執行役員	大井 晃一
社外取締役*	渡辺 樹一	執行役員	羽野 良弘
社外取締役*	鶴 由貴	執行役員	瀬川 夏樹
常勤監査役	蕪木 昇	執行役員	板倉 潮
常勤監査役	粕谷 寿久	執行役員	夏井 孝之
社外監査役*	高橋 均		
社外監査役*	池之上孝幸		

\*東京証券取引所の規定する独立役員です。

## 株式の状況 (2024年3月末現在)

## 🚩 株式数・株主数・上場取引所

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	26,863,974株
株主数	7,494名
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場(証券コード7408)

## 🚩 株式分布状況



## 🚩 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	8,956	33.37
ANAホールディングス株式会社	5,373	20.02
昭和飛行機工業株式会社	2,003	7.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,117	4.16
ジャムコ従業員持株会	407	1.51
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	267	0.99
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	241	0.89
J.P.MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMS RE CLIENT ASSETS-SETT ACCT	190	0.70
MSIP CLIENT SECURITIES	171	0.63
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	116	0.43

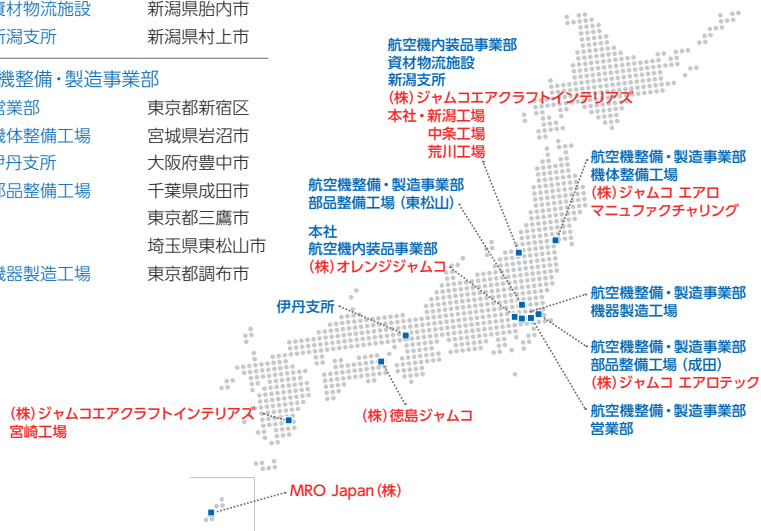
(注) 持株比率は、自己株式(24,852株)を控除して計算しております。

### 事業拠点 (2024年6月26日現在)

#### ✈️ 事業所／子会社／関連会社一覧

本社	東京都立川市
航空機内装品事業部	東京都立川市
■ 資材物流施設	新潟県胎内市
■ 新潟支所	新潟県村上市
航空機整備・製造事業部	
■ 営業部	東京都新宿区
■ 機体整備工場	宮城県岩沼市
伊丹支所	大阪府豊中市
■ 部品整備工場	千葉県成田市
	東京都三鷹市
	埼玉県東松山市
■ 機器製造工場	東京都調布市

#### JAMCO 事業所・工場・支所 JAMCO 子会社・関連会社



\*JAMCO SINGAPORE PTE LTD.は、2021年1月をもって解散し、2024年6月7日現在清算手続きを進めております。

### 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.pronexus.co.jp/koukoku/7408/7408.html">https://www.pronexus.co.jp/koukoku/7408/7408.html</a> (但し、電子公告によることができない事故、その他の止むを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。)

#### ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできません。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店にお問い合わせください。

# 公式SNSはじめました！

XとYouTubeにて、ジャムコ公式SNSを開設しています。

取組みやお知らせなどを随時更新していますので、ぜひご覧ください。

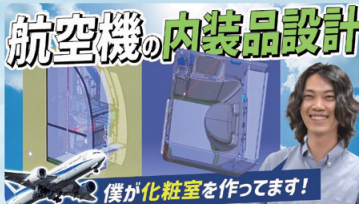
YouTubeチャンネルでは従業員の密着動画を公開しています。ジャムコならではの業務や製品などについて紹介しており、動画を通じてジャムコに興味を持ってくれた学生も多く、採用活動にも役立っています。今後も社内の様々な様子を紹介していく予定です。



X (旧Twitter)  
(株)ジャムコ公式アカウント  
@JAMCO\_Official



こちら、ジャムコと申します  
@jamco3062



<https://www.youtube.com/watch?v=aSSgD3b1qUE&t=61s>



<https://www.youtube.com/watch?v=7OsZoyr2ebA&t=14s>



## 株式会社 ジャムコ

〒190-0011 東京都立川市高松町一丁目100番地  
TEL:042-503-9900 (代表)

※本資料に記載されております当社の計画や予測等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に判断したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

※本資料で使用している文章、写真等の無断での複製・転載を禁止します。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。